

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	水の森公園の一部（キャンプ場を含む。）
2	指定管理者	公益財団法人仙台市公園緑地協会
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 24,404人（前年度比 90.8%） 平成28年度 31,993人 平成29年度 26,334人 平成30年度 26,863人</p> <p>《事業》 4月～11月までのキャンプ場管理業務及び年間を通じた公園管理業務</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 18,841千円（18,922千円）（ ）は前年度決算額</p> <p>・ その他市が負担した費用 0千円（ 0千円）</p> <p>《収入》</p> <p>・ 使用料収入 3,103千円（3,227千円）</p> <p>・ その他収入 0千円（ 0千円）</p>
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>① アンケートの実施状況と結果・別紙参照 ② その他の手法（利用者懇談会等）による評価の実施状況と結果・窓口や電話等にて随時対応。（利用者からの意見や要望は別紙のとおり）</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的を十分に理解し、管理運営に反映させている。	24/24
II 施設の運営管理体制	台風等の自然災害や獣害等に柔軟に対応しており、施設の安全な管理運営体制を構築している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	水の森公園全体の巡回も定期的に行うなど、十分に維持管理を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	昨年度に引き続き、利用者の声に答え「3月特別開園」を行うなど、施設の利用促進に繋げている。しかしながら、利用者対応においての苦情も複数あり職員の一貫した丁寧な対応が必要である。	27/28
V 施設固有の基準	水の森公園を中心に活動するNPO団体等と日頃から十分な連携を行っている。また、近隣小中学校の校外学習の受け入れを通じて地域との連携や公園の魅力向上の取り組んでいる。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（公財）仙台市公園緑地協会による自己評価》

事業計画書及び仕様書に基づき適切に管理運営を行った。利用者に施設を快適に利用していただけるように芝刈りや清掃など維持管理に努め、近隣住民の方々にゴミや騒音などで迷惑をかけないよう、利用者へ放送で呼びかけたり看板を設置して利用者のマナーアップに努めた。市民団体との協働においては水の森公園を中心に活動している緑の活動団体などと指定管理者が事務局となり運営協議会を結成し、各団体との連絡調整や活動支援を行い市民協働による管理運営を充実させた。

自主事業においては、初心者向けのアウトドア教室などキャンプに関連したイベントに加え、冬期間の公園利用促進を図るため野鳥などの観察会を実施した。また、毎回人気の高い地元の窯元である堤焼乾馬窯の協力を得て、陶芸教室を2回実施するなどしてキャンプ場とその周辺地区の魅力伝えるイベントを実施した。今年度から、キャンプ場の利用を3月から開始し利用者からの要望に応えた。

さらに、管理区域外の公園内で発生した倒木の処理や来園者及び所管区からの苦情・要望にも積極的に対応するとともに、丸田沢堤の堤防周辺の除草清掃を定期的に行い、堤の眺望確保と景観維持に努め散策者から好評を得た。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

キャンプ場内の快適な利用環境保持のため、管理区域以外でも除草を行うなど、景観維持に努めており、冬期の「3月特別開園」等の自主事業を通じ、利用者から好評を得ている。公園全体の巡回の際には、大雨・台風後等に発覚した危険箇所に対応を速やかに行うなど、キャンプ場利用者だけでなく、公園利用者の安心・安全を確保し、施設全体に目の行き届いた管理を行っている。また、近隣中学校の職業体験の受け入れなど、地域や公園利用者に親しまれるように、積極的に取り組んでいる。

A

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園課